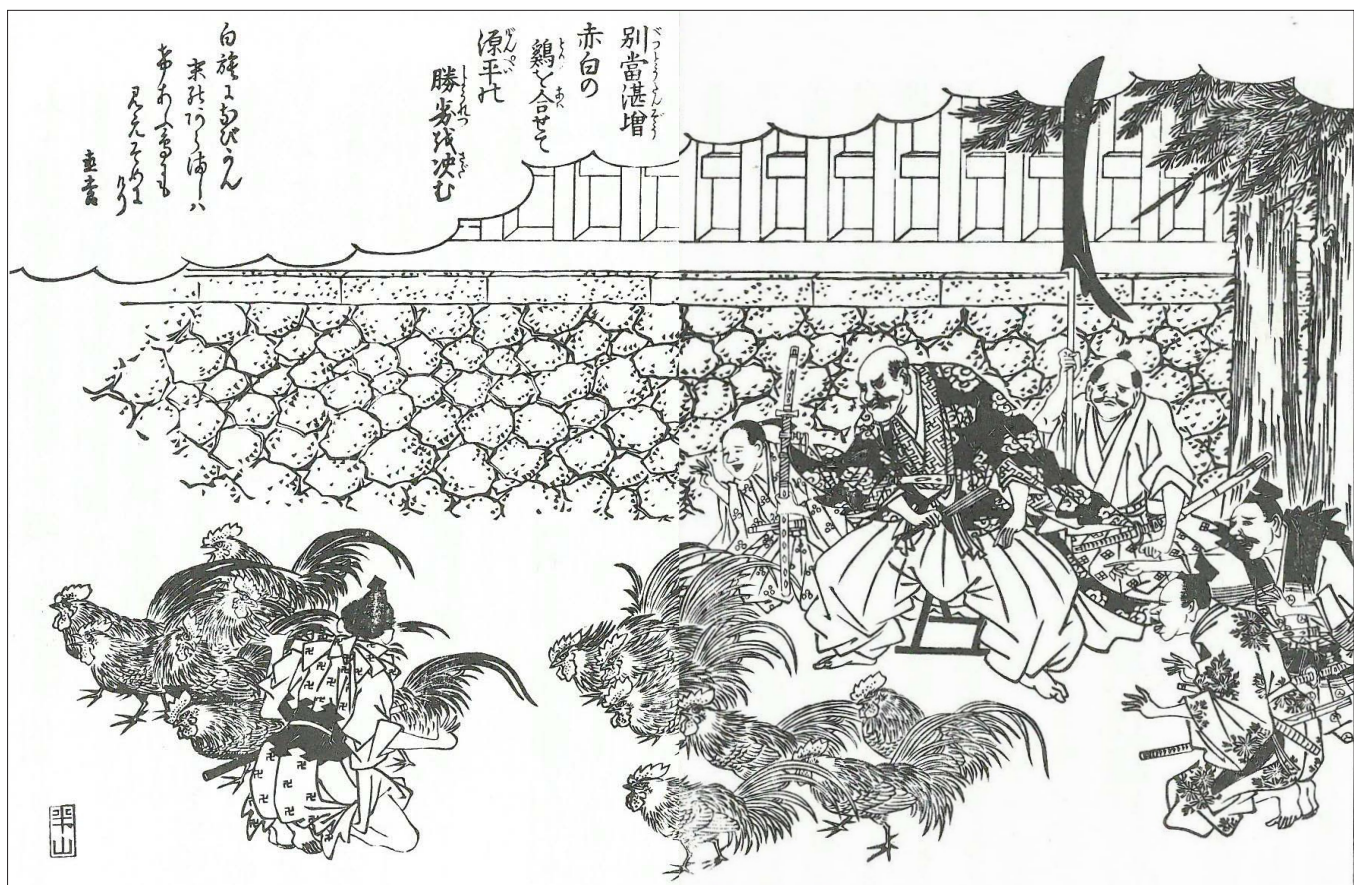


闘雞神社を知る



さいごくさんじゅうさんしよめいしよずえ
出典：西国三十三所名所図会

社名の由来
江戸時代には「新熊野闘雞権現社」又は「新熊野雞合権現社」と呼ばれ、「闘雞神社」の名前は明治になってからです。闘雞神社の社名は、『平家物語』巻11「鶏合、壇浦合戦」に、源平合戦の際に源氏・平氏どちらに味方するか迷う湛増が、紅白二色の鶏を神前で七番闘わせて神意を占い、全て白色の鶏が勝利したことから源氏に味方したとする物語によりまします。

古くから熊野参詣の際は闘雞神社に参り、心願成就を祈願し、たととされています。また、同社に祈願し、三山参詣に替えたとの伝承があることから、熊野三山の別宮的な存在でもありました。

闘雞神社の始まり
社伝によれば允恭天皇8年（419）に創建され、今年で1600年となりました。

『紀伊続風土記』では、熊野別当18代湛快のときに熊野三所権現（熊野三山の主祭神）を勧請（神仏の分身・分霊を他の地に移して祭ること）したと伝え、湛快の子湛増はこの付近に坊舎（僧の住む家）を構え、以降熊野別当家の一流（田辺別当家）が代々当地に住んで、神社を管理しました。

闘雞神社と安藤氏

安藤直次が田辺城に入城してから、安藤家は闘雞神社と深い関わりを有してきました。特に第4代直清は、寛文元年（1661）に現在の本殿を再建したほか、その本殿の屋根の葺き替えなど、社頭整備に尽力しました。また、神社に伝わる麒麟の大絵馬は、第11代次猷の奉納です。

特集

世界遺産 闘雞神社 創建千六百年

平成28年10月に世界遺産に追加登録された闘雞神社。今年で創建1600年という節目を迎えるとともに、安藤直次が田辺城に入城して400年でもあります。

今月号では、闘雞神社の歴史や見どころなどを紹介しています。地域が大切にしてきた伝統的文化や行事にも注目し、その魅力を再確認してみませんか。

◇観光振興課 観光振興係
0739（26）9929
◇文化振興課 文化財係
0739（26）9943



広報田辺 令和元年6月号・目次

02 目次・特集「世界遺産闘雞神社創建千六百年」

08 トップニュース
後期高齢者医療制度にご加入の皆さんへ／ふるさと田辺へのご支援ありがとうございました ほか

12 情報ボックス
ふるさと文化振興補助金を交付します／ニュースポーツ教室を開催します ほか

16 相談日程等

18 みんなの広場

22 みんなの彩時記
幻の熊野古道奥辺路ウォーク龍神の大自然へ／みんなで漁港へ♪芳養しおさいまつり ほか



今月の表紙写真

今月の表紙は、市街地の魅力を再発見するまち歩きイベントです。参加者が、闘雞神社で正式参拝をしている様子を撮影しました。

紙面で使用するマーク等の説明

回…日付・期間	冠…定員
時…時間	金…料金・費用
休…休館日	持…持ち物
場…場所	申…申込み・申請方法
集…集合	問…問合せ
内…内容	[消印]…消印有効
対…対象・参加資格等	[先着]…先着順

◇☎マークには、振替休日等も含まれます。
◇料金や申込み方法の記載のないものは、不要です。
◇市役所の開庁時間（申込み・問合せ等の受付を含む。）は、☎を除く月～金の8時30分～17時15分です。毎週☎は、市民課・保険課・税務課の一部窓口を19時まで延長しています。



闘雞神社は今年創建1600年を迎えました。長く継承されてきたものを、後世に伝えていくことが大事であると改めて感じています。今年、記念行事を多く企画しており、闘雞神社と藤巖神社の企画展では、普段は見ることができないものも展示します。また、秋頃を中心に奉祝行事もあります。ここを訪れる方には、歴史など少しでも神社のことを知ってもらえたらいいですね。



闘雞神社 宮司 長澤 好晃 さん

闘雞神社にまつわる行事

弁慶まつり

源平合戦期に弁慶と湛増^{たんそう}を中心に繰り広げられた熊野水軍のドラマを壮大な時代絵巻として再現。弁慶ゲタ踊りや弁慶よさこい踊りも行われます。

弁慶市

闘雞神社馬場で毎月第3日曜日に開催される朝市です。地元産品や周辺町村の産品などをはじめ、掘り出し物が盛りだくさんです。

田辺祭

闘雞神社の例大祭であり「紀州三大祭」の一つとしても知られています。笠鉾^{かさぼこ}は山車^{だし}の一種であり、田辺では「お笠」と呼ばれ、名物の一つとなっています。

安藤直次の足跡



藤巖神社

闘雞神社の境内にある藤巖神社は当地域に梅の栽培を広げた安藤直次^{なまつ}を祀り、毎年5月13日に例祭を行っています。また、神社の前には、安藤直次の功績を紹介した説明板が設置されています。

田辺城（水門）

田辺城は、浅野氏が築城した後に安藤氏が修築し、城と城下町が整備されました。会津川河口近くには、埋門型の水門が設けられ、城代家老の安藤直隆^{なおたか}（小兵衛）が、田辺湾内各所に舟で出掛ける際には、この門を利用しました。田辺城の面影を残す数少ない建築物です。



こんな貴重なものが！



飯庵山の経塚

▶▼飯庵山の経塚から発見された石硯・青白磁合子等



市立歴史民俗資料館に展示されています。※許可を得て撮影しています。

闘雞神社に行ってみよう



①拝殿／②本殿／③社殿（写真奥から西殿・本殿・上殿・中殿・下殿・八百萬殿の6棟が並んでいる）／④境内の一角にある、鶏が闘う様子を再現した、湛増とその息子とされる弁慶の像

闘雞神社の社殿は、熊野三山の影響が強く、明治22年の大洪水により流失した熊野本宮大社と社殿の配置が類似しています。また、本殿は、当時の田辺領主であった安藤直清が造営に深く関わり、17世紀中期以前から残る、和歌山県南部でも数少ない建築物です。同社のいずれの社殿も細部には市周辺の地方的特色を備え、紀伊半島南部における神社建築の展開を考える上でも重要な建築物です。境内は、江戸時代以来の景

観を保持しているほか、社殿背後の飯庵山の中腹から山頂では、平安時代末期から鎌倉時代初頭の経塚が3基発見されています。その中には、外容器の甕・経筒・合子（小物入れ）・刀子（小型の刀）・小型硯・古銭などがあり、特に青白磁合子が18点とその数の多さが特筆されます。神社の環境や景観、建造物、所有する美術工芸品、例大祭の田辺祭も含め、それら全体が高い文化財的価値を有しています。

記念事業・恒例行事予定（抜粋）

6月

◎夏越大祓式（6/30）

7月

◎闘雞神社創建1600年記念「灯籠」イベント
◎闘雞神社創建1600年記念企画展
◎田辺祭・例大祭（7/24～25）

9月

◎第26回特別企画展「闘雞神社と南方熊楠」（7/21～9/16）
◎奉納記念コンサート（9/14）
◎田辺薪能（能楽）イベント（9/28）

10月

◎闘雞神社創建1600年記念シンポジウム
◎弁慶まつり（10/4～5）
◎熊野詣を題材にした奉納落語公演イベント
◎闘雞神社創建1600年記念「木もれ陽」プロジェクト（10/12～13）

11月

◎街なか散策ウォークイベント
◎やまいわい餅の振る舞いイベント
◎安藤家入城400年記念企画展

12月

◎年越大祓式・除夜祭（12/31）

これらの他にも様々な記念イベントを予定しています！
是非お越しください。
※開催日等は変更となる場合があります。



田辺観光協会事務局
（観光振興課内）
富田 晃規

地域が一体となって
盛り上がるように

闘雞神社は、平成28年10月に世界遺産に登録されてから、県内外関係なく、多くの方が訪れるようになりました。そして今年、闘雞神社創建1600年、安藤家入城400年という節目の年を迎えています。

この記念すべき年を盛り上げるために、官民一体となって、駅前にはぼりを設置したり、ポスターを掲示するなどの啓発活動を行っています。また、田辺薪能（能楽）や奉納コンサートなどのイベントを実施するほか、これから年末まで様々なイベントを予定しています。是非皆さんご参加ください。

そして、これらの記念事業を通じて、田辺の街なかや熊野の魅力を再認識していただき、地域が一体となって盛り上がることに繋がれば嬉しいですね。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は、「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」の三大霊場と、それらを結ぶ参詣道とそれらを取り巻く文化的景観（自然と、そこに関わった人間の営みにより作られた農業・森林景観や集落景観など）により構成されている資産で、平成16年7月に世界遺産に登録されました。

闘雞神社は、既登録地と同様、史跡熊野参詣道（中辺路・大辺路）を構成する重要な遺産であることから、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」和歌山県保存管理計画でも追加指定すべき範囲として位置付けられました。そうしたことから、関係各所が尽力し、平成28年10月に世界遺産に追加登録されました。

闘雞神社の価値を伝える



ポケットパークをご利用ください♪



市街地散策の拠点施設として「田辺市街なかポケットパーク」が、平成30年4月21日から供用を開始しています。闘雞神社をはじめ熊野古道の案内業務（外国人観光客にも対応）を担うほか、施設内では市街地の魅力を紹介する展示も行っています。

■営業時間 9時～17時（年中無休）
■場所 27-37
☎ 0739-33-9030 / ✉ pokepa@mb.aikis.or.jp

私たちがご案内します

私たち「田辺観光ボランティアガイドの会」は、平成11年から活動を始め、現在では約30名の会員が旧市内の観光案内等を行っています。闘雞神社は、世界遺産に追加登録されたことで認知度が高まり、お客さんの中にはとても詳しい方もいらっしゃいます。私たちも案内をするための知識は豊富にありますが、改めて田辺の良さを勉強したり発見したりすることができ、とてもやりがいを感じています。今後も田辺の魅力を多くの方に伝えていければと思います。皆さん、是非ポケットパークにお越しください。



田辺観光ボランティアガイドの会の皆さん

代表 近藤新治さん
池田千鶴子さん 澤井民子さん